

同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

2) 臨床での経験を活かし、助産学実践分野における学修、実践を通して見出した課題を探究するとともに、助産師の資格取得を目指し、長期履修制度を活用した学生の場合

(1) 入学までのプロセス

大学看護学部の臨地実習で助産師の仕事に興味を感じたが、A 大学病院に看護師として就職した。配属が NICU となり 3 年目を迎え、親子関係や家族の再構築促進への支援に限界を感じた。助産師の資格取得と共に妊娠期からの家族形成について深め、臨床に生かしていきたいと考え、今の職場で非常勤での勤務を続けながら、3 年間の長期履修制度を活用して大学院に進学した。

(2) 科目選択

① 共通科目 (必修 8 単位、選択 4 単位 計 12 単位)

看護学研究特論, 看護研究方法論, 理論看護特論, 看護倫理特論, 看護教育特論, 看護管理特論

②-1 看護学研究科目 (臨床看護学領域 選択 4 単位)

ウイメンズヘルスト論 I, ウイメンズヘルスト論 II

②-2 助産学実践科目 (選択 38 単位)

基盤科目 (28 単位)

助産学概論, リプロダクティブヘルスト論, ペアレンティング援助論, 妊娠期助産診断技術学, 分娩期助産診断技術学, 産褥・新生児期助産診断技術学, 助産診断技術学演習, 地域母子保健論, 助産マネジメント論, 助産学実習 I, 助産学実習 II, 助産学実習 III

発展科目 (10 単位)

赤ちゃん学特論, 地域母子保健論, 統合ヘルスケア論, リプロダクティブヘルスト演習, 高次助産診断技術学演習, 助産学実習 IV, 助産学実習 V

③ 特別研究 (選択 4 単位)

課題研究

(3) 課題研究テーマ 「助産師による胎児期からの親子の愛着形成」

(4) 修了後の進路

助産師国家試験に合格。助産師として、A 大学病院の周産期センターへ再就職する。NICU での経験を活かしながら助産師として妊娠期からの母子ケアでの実践力を発揮し、リーダーとしての成長を期待される。

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		履修年次		
				必修	選択	1年生	2年生	3年生
共通科目	看護学研究特論		1春	2		○		
	看護研究方法論		1秋	2		○		
	科学英語論文クリティーク		1春	2				
	理論看護特論		1春	2		○		
	看護倫理特論		1春	2		○		
	看護教育特論		1春	2		○		
	看護管理特論		1秋	2		○		
	健康科学特論		1春	2				
	小計 (8科目)		—	8	8	12		
専門科目	看護学研究科目	臨床看護学領域	成人看護学特論 I	1春	2			
			成人看護学特論 II	1秋	2			
			ウイメンズヘルスト論 I	1春	2	○		
			ウイメンズヘルスト論 II	1秋	2	○		
		広域看護学領域	高齢者・在宅看護学特論 I	1春	2			
			高齢者・在宅看護学特論 II	1秋	2			
			公衆衛生看護学特論 I	1春	2			
			公衆衛生看護学特論 II	1秋	2			
			看護学演習	1秋	4			
			小計 (9科目)	—	20	4		
	助産学実践科目	基盤科目	助産学概論	1春	2	○		
			リプロダクティブヘルスト論	1春	2	○		
			ペアレンティング援助論	1春	2	○		
			妊娠期助産診断技術学	1春	2	○		
			分娩期助産診断技術学	1秋	2	○		
			産褥・新生児期助産診断技術学	1春	2	○		
			助産診断技術学演習	1通	2	○		
			地域母子保健論	1秋	1	○		
			助産マネジメント論	1秋	2	○		
			助産学実習 I	1春	2	○		
			助産学実習 II	1秋	7	○		
			助産学実習 III	2通	2		○	
			小計 (12科目)	—	28	26	2	
		発展科目	赤ちゃん学特論	1秋・2秋	2		○	
			地域母子保健論	1秋・2秋	1		○	
			統合ヘルスケア論	1秋	1	○		
			遺伝カウンセリング論	1秋・2秋	1			
			リプロダクティブヘルスト演習	2春	1		○	
			高次助産診断技術学演習	2通	1		○	
			助産学実習 IV	2春	2		○	
			助産学実習 V	2秋	2		○	
			小計 (8科目)	—	11	1	9	
特別研究	特別研究		2通	8				
	課題研究		2通	4				○
	小計 (2科目)		—	12				4
合計 (39科目)			—	8	79	58		